

# 共同ひるげ 維新プロ グラム案 の抜本見直しを

「生活の土台を壊す賃下げは撤回せよ」「非常勤教職員の解雇は、絶対に許さない」。  
6月21日(土)、早朝からはじまった知事との団体交渉では、約100名からなる交渉団が、職場の怒り、教職員要求を背景に、あくまで人件費削減に固執し、7月府議会に關係案例を提出する姿勢を変えようとし、橋下知事を厳しく追及しました。

## 雨中の総決起集会に 怒り結集

闘争の最大の山場となった20日(金)、府労組連は文字どおり総力を挙げたたかひを展開しました。早朝宣伝、総務部長との第4回団体交渉、そして激しい雨について開催した決起集会には、職場の怒りと要求をたぎらせた組合員、労働者・府民2200名が参加。集会後のデモ行進では、「府民犠牲の『橋下維新プログラム』反対」「生活破壊の賃金削減を撤回しろ」のシュプレヒコールを響かせました。

## 生活破壊、解雇は撤回せよと追及

日付が変わった早朝6時20分から始まった第5回団体交渉で交渉団100名は、徹夜待機、断続的には、「生計費原則」「均衡の原則」、これを根拠にした人制制度を真に向か否定するもの。公務員の賃金決定原則をふみにじる提案は撤回せよ。

## 6項目は次の通りです

- ①労働慣行を遵守せよ  
そもそも賃金、労働条件は十分な労使協議の上になされた合意で決定されるのが労使関係の原則。この原則をくすす一方的な改悪は許されない
- ②非常勤職員の首切り・解雇は撤回せよ  
教務事務補助員等、府立学校に働く350名におよぶ非常勤職員を事実上首切りとする、「雇い止めは」断固認められない
- ③賃金決定ルールをふみにじるな  
今回の賃金引下げ提案は、地公法24条に示された「生計費原則」「均衡の原則」、これを根拠にした人制制度を真に向か否定するもの。公務員の賃金決定原則をふみにじる提案は撤回せよ。
- ④国や他府県でも前例がない退職金削減は認められない  
賃金の後払い、退職後の生活保障という退職金のもつ性格からして、財政事情を理由にした削減は不当なものであり、提案は、合理性・公平性を著しく欠くもの
- ⑤教育専門員制度の廃止は、教育活動に重大な支障  
障害をもつ児童・生徒の個別の学習指導、不登校対応など、配慮が必要な子どもたちと向かいあってきた教育専門員を廃止することは、教育活動に重大な影響を与える。同時に、定年後の再雇用の道をいっそう狭めることは、使用者責任を放棄するもの
- ⑥開発推進の財政政策を転換せよ  
「財政再建」というのなら、赤字を膨らませてきた



デモ行進デビューの泉大津市教組の青年

「主要プロジェクト」を中止・凍結し、府民生活を守るといふ自治体本来の役割をふまえ、府民のための財政再建をおこなえ

## 「職員の首より、イルミネーションが大事か」

府労組連の追及に対し、知事は「労働慣行を遵守」「人制制度は尊重」といいながら、財政危機を口実に「人件費削減をお願いせざるを得ない」とあくまで提案に固執。また、非常勤職員の「雇い止め」についても、「財政状況の下で解雇はやむを得ない。優先順位で判断した」とする。府に、当該職員からの「イルミネーションより私たちの首が下なのか」の発言に対しては、「それが私の判断だ」と、許しがたい回答をおこないました。

## 職場共同、府民との連帯を広げ

橋下知事は、就任以来「大阪は破産会社と同じ」「多重債務状態だ」と、大阪がすぐにも夕張市のような財政再建団体に陥るかのようになり、まやかしの「財政破綻論」を繰り返して、府民に対し「我慢」を求め、一方、人件費削減を演出。結果、少なくない府民の中に「財政危機なら当然」の意識を広げられました。

## 7月府議会にむけたたかひの強化を

交渉決裂という、府労組連結成後初めての事態をうけ、大教組は、引き続き府労組連に結集し闘争体制を堅持するとともに、人件費削減撤回、雇用確保、そして「大阪維新プログラム案」の抜本見直しにむけた府民宣伝や議会要請などの議会内外のたかひ、職場からの取り組みに総力をあげて奮闘するものです。

①7月府議会に向けた各会派、府議会議員要請をたかひにおこなおう  
08年度の本予算案を決める7月府議会が大きな山場になります。府議会各会派と地元選出議員への要請行動を、地域の団体や労働組合とともにおこない、切実な要求実現と「財政再建プログラム」の抜本見直しを求めましょう。

②府民宣伝を大きくすすめる  
明るい会や府労組連発行のビラを活用し、引き続き駅頭を中心にした府民宣伝を強めましょう。

③単組・支部・職場での学習を強め、PTAとの懇談を行い、共同を広げよう  
この4月から教育専門員になりました。R君は自分の課題に合った学習をゆっくりと私と始めたある日、黒板に大きく「ありがとう」と書いて分ける喜びを表現すすめましょう。



職場決議を橋下知事に手交する辻保夫府労組連委員長(写真左)

## 仕事への誇り、奪わないで



府立河南高・非常勤職員 福谷紀子さん

「化学反応による色の変化など結果がわかりやすい」「もっと実験がしたい」など、実験を通して理科に興味を持ち始めている生徒の姿をたくさん見てきました。年収110万円の非常勤職員ですが、生徒が理科好きになってほしいという思いでがんばってこられました。私はこの仕事に誇りを持っています。

## 教育専門員の廃止は撤回を



狭山西小・教育専門員 中本基代子さん

特別な支援を必要とする児童の個別指導を切望し、この4月から教育専門員になりました。R君は自分の課題に合った学習をゆっくりと私と始めたある日、黒板に大きく「ありがとう」と書いて分ける喜びを表現すすめましょう。

## 当面の取り組み

- 6月27日まで  
府議会各会派要請  
各府会議員への要請行動
- 6月26日(木)  
大教組単組・支部・専門部代表者会議  
17:00 社会福祉会館(第2会議室)  
府労組連拡大中央委員集会  
19:00 同上
- 7月1日(火)終日行動(教育塔前他)  
10:00 障害者団体府庁包囲行動  
12:15 府民連府庁包囲行動  
17:00 解雇撤回!臨時教職員決起集会(府庁正面玄関前)  
18:45 大阪労連決起集会

号外  
2008.7/1  
大阪教育  
昭和29年2月16日第三種郵便物認可/毎月10日発行/1部30円(組合員は組合費を含む)/発行・大阪教職員組合・〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F/TEL 6768-2330/FAX 6768-2239/daikyoso@daikyoso.jp  
編集発行人・加藤秀雄/印刷・関西共同印刷所